授業改善推進プラン

教科（　　技術科　　）　学年（　1　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

1 学期の【教科別質紙調査】から、授業に積極的に取り組む、分かると感じる、学ぶ楽しさを感じる生徒数は全体の約 8 割程を占めることが分かった。その反面【定期テスト】には成果が反映されず、平均点は 5 割程度にとどまった。

授業等の課題分析

授業内での生徒の積極さや、理解度は確保されているが、繰り返し問題に取り組み知識を定着させる時間が不足されていることが考えられる。しかし【授業内のみ】での昇華は制度上難しく、授業外での取り組みを生徒にどうさせるかが課題である。

目指す授業

生徒が積極的に取り組み、その成果が生徒にとって分かる形で現れる授業

授業改善のための具体的な方策

・技術科における勉強方法の確認
・知識の伝授に伴う問題の設定
・授業外での課題や学習に取り組ませるようにする教師の継続的な働きかけ

授業改善推進プラン

教科（　　技術科　　）　学年（　2　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

1 学期の【教科別質紙調査】から、授業に積極的に取り組む、分かると感じる、学ぶ楽しさを感じる生徒数は全体の約 7 割以上を占める。その反面【今これから何に取り組むのか】また【今日の授業のポイント】が何か分かっていない生徒も 4 割程度存在し、結果【定期テスト】の平均点に反映した。

授業等の課題分析

授業内での生徒の積極さや、広い視野で見れば理解度は確保されているが【現時点で大切なこと】や【今日の授業のポイント】が曖昧で理解しきれていない生徒をどう理解させ、授業に取り組ませるかが課題である。

目指す授業

生徒が積極的に取り組み、その成果が生徒にとって分かる形で現れる授業

授業改善のための具体的な方策

・授業 1 度ごとの目標の提示とまとめ
・全領域のなかでの現授業の位置の確認
・課題や学習に取り組ませるよう継続的に働きかける

授業改善推進プラン

教科（　　技術科　　）　学年（　3　学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

1 学期の【教科別質紙調査】から、授業に積極的に取り組む、分かると感じる、生徒数は全体の約 8 割程を占めることが分かった。【定期テスト】には成果が反映され、平均点は 7 割程度となった。

授業等の課題分析

【教科別質紙調査】の結果、授業内での生徒の積極さや、理解度はある程度確保されているが、教科の好き嫌いにおいて 1 部の生徒に不評感が見える。不評感を減らす手立てを探りつつ【定期テスト】の平均点を上げることが今後の課題である。

目指す授業

生徒が積極的に取り組み、その成果が生徒にとって分かる形で現れる授業

授業改善のための具体的な方策

・知識の伝授に伴う問題の設定
・全体の理解度への細やかな確認
・授業外での課題や学習に取り組ませるよう継続的に働きかける